



2026年5月15日

各位

会社名 チエル株式会社
代表者名 代表取締役社長 川居 睦
(証券コード 3933 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 片岡 久議
(TEL. 03-6712-9721)

2026年3月期の業績予想と実績の差異及び中計経営計画の見直しに関するお知らせ

2026年4月20日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたこと、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の数値目標を修正することを、2026年5月15日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想と実績の差異について

(1)2026年3月期の連結業績予想値と実績値との差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	920	870	530	70.99
実績値(B)	10,226	1,069	1,054	658	88.16
増減額(B-A)	226	149	184	128	17.17
増減率(%)	2.3	16.2	21.2	24.2	24.2

(2)差異の理由

連結営業利益は、GIGA スクール第2期の需要取込みが堅調に推移し、前回予想920百万円に対し、1,069百万円(前回予想比149百万円増加)となりました。

連結経常利益は、上記要因に加えて、従業員の正社員化に伴うキャリアアップ助成金及び公立学校への情報機器整備事業に係る助成金の収入が子会社に計上されたことを理由として、前回予想870百万円に対し、1,054百万円(前回予想比184百万円増加)となりました。

親会社に帰属する当期純利益は、上記要因を理由として、前回予想530百万円に対し、658百万円(前回予想比128百万円増加)となりました。

2. 中期経営計画の修正について

(1) 修正の内容

	2027年3月期 (修正前)	2027年3月期 (修正後)	増減値
連結売上高	11,000百万円	8,000百万円	△3,000百万円
連結経常利益	850百万円	450百万円	△400百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	590百万円	400百万円	△190百万円

(2) 修正の理由

文部科学省が進める「1人1台端末」の更新需要（GIGAスクール・リプレイス）につきましては、2026年3月期において当社の予想を上回る集中的な需要が発生いたしました。

一方、2026年3月期に集中したGIGAリプレイス需要の反動及び経営資源を成長領域へ集中させるために実施した進路事業の譲渡により、2027年3月期においては減収減益が見込まれます。

詳しく見ますと、採用増や体制整備、さらには社員の待遇改善に努めるなど、チエル製品の安定的な提供、営業基盤拡充のための前向きかつ必要な投資を増やしております。また、進路事業の譲渡により、2027年3月期連結売上高が1,093百万円程度、連結営業利益が66百万円程度減少致します。

2027年3月期までの第6次中期経営計画では、この影響を織り込まない段階で2026年3月期売上高10,000百万円、営業利益750百万円、経常利益750百万円、親会社株主に帰属する当期純利益490百万円とし、2027年3月期売上高11,000百万円、営業利益850百万円、経常利益850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益590百万円と見込んでおりました。GIGAスクール第2期の2026年3月期における更新が予想より集中したことなどから、2026年3月期の売上高は10,226百万円、営業利益は1,069百万円、経常利益は1,054百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は658百万円といずれも中期経営計画を上回る数字となり、2026年3月期実績と2027年3月期見込みを均してみますと、概ね中期経営計画通りの利益進捗となっておりますが、さらに一層の利益を2027年3月期及びそれ以降も安定的に実現できる取り組みを続けてまいります。

以上を踏まえ、中期経営計画の値目標を修正いたしました。

以 上